

児童発達支援自己評価票（事業所評価）

事業所名		こども通所支援事業所 はなのうら		平成30年10月		
チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
環境・ 体制 整備 備	①	○		指導訓練室等、目的別に使用出来る部屋を4室有しており、利用児を適切に受け入れることができます。		
	②	○		各部屋の用途に合わせて職員配置を工夫し、死角が出来ないようにしています。		
	③	○		平成29年5月の建て替え時に、バリアフリー化に十分配慮しました。		
	④	○		遊戯室等を4部屋有し、十分なスペースが確保されています。 また、目的別に使用できるように、部屋ごとに環境設定しています。		
業 務 改 善	⑤	○		会議や、毎日の打ち合わせの際に職員全員で行っています。		
	⑥	○		アンケートを通じて保護者の意向を把握し、結果をもとに、職員全員で検討し、業務改善につなげています。		
	⑦	○		事業所内に掲示しています。また、はなのうらのHPにも載せています。		
	⑧		○		第三者評価を受審していません。	今後、外部評価機関などの外部評価の受審体制を整えば、受けたいと考えています。
	⑨	○		障害特性をより理解できるように支援についての研修をパート職員も受講しています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
適切な 支援の 提供	⑩	○		年2回、アセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。		
	⑪		○		市内共通のサポートファイルの活用ができていません。	市内共通のサポートファイルを有効に利用できるような検討していきます。
	⑫	○		おやつ作りやごっこ遊び、創作活動など利用児が主体的に活動することで楽しみながら成功体験できるように工夫しています。		
	⑬	○		利用児の自主性を尊重しつつ、集団ルールが守れるよう環境を整備し、職員が統一した支援を行うようになっています。		
	⑭	○		活動プログラムについては、職員全員でミーティングし、毎月の案と毎日の案を作成しています。		
	⑮	○		活動プログラムについては、職員全員でミーティングし、毎月の案と毎日の案を作成しています。		
	⑯	○		利用児の特性や状況を踏まえて、個別活動や集団活動のバランスを考えながら作成しています。		
	⑰	○		毎朝のミーティングで細かく打ち合わせし、確認しています。		
	⑱	○		記録を正しくとることを徹底し、その記録をもとに検証・改善を行っています。 引き続き、サービス会議や日々のミーティングで行ってまいります。		
	⑳	○		年2回、モニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
関係機関や保護者との連携	⑳	○		出席前には、利用児の状況をスタッフ全員で詳細に検討し、利用児を担当する職員が参加しています。		
	㉑	○		こまめに情報共有を行い、連携した支援が出来るようにしています。		
	㉒			現在、医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童のご利用はありません。		
	㉓			現在、医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童のご利用はありません。		
	㉔	○		相談事業所へ提供された情報については、可能な限り共有できるようにお願いしています。また、直接の依頼にも出来る限り提供するようにしています。		
	㉕	○		相談事業所へ提供された情報については、可能な限り共有できるようにお願いしています。また、直接の依頼にも出来る限り提供するようにしています。		
	㉖	○		児童発達支援センター等主催の研修には積極的に参加するようにしています。また、児童発達支援センターを利用している利用児については連携し、助言を受けています。		
	㉗		○		利用児の特性もあり、現状では困難ですが、入所者や児童との交流の機会は作っています。	機会があれば交流していきたいと考えています。
	㉘	○		管理者は、防府市子ども発達支援部会の部会長であり部会や、防府市地域総合支援協議会に参加しています。		
	㉙	○		保護者とは、連絡帳や、送迎の際の会話を通じて利用児の状況や課題について共通理解を図るよう努めています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)	
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等		
保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		ペアレントトレーニングの研修に参加し、研修の成果を踏まえて支援に努めています。		
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際、また質問があった際には説明をしています。		
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった際には、必要な助言が出来るよう支援しています。		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会を開催していません。	保護者会の開催については、必要性や保護者の要望があれば、対応していきたいと考えています。
	③⑥	利用児や保護者からの苦情、相談及び申入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用児や保護者に周知し、苦情、相談及び申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談窓口を設置し、苦情や相談には、担当職員が、迅速かつ適切に対応しています。		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用児や保護者に対して発信しているか	○		「はなはな日記」を定期的に作成し、活動概要等を保護者にお知らせしています。 また、日々の連絡帳に写真を添えるなど、きめ細かく情報を発信しています。		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		当事業団の「個人情報保護規程」等に基づき、利用児ケース記録等は鍵付ロッカーで保管するなどの対応を行っています。		
	③⑨	障害のある児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用児に合わせて、絵カードや写真等を利用した支援を取り入れ、より理解が進むよう配慮しています。保護者の方にはその状況を送迎時や連絡帳で報告し、共有できるようにしています。		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		スヌーズレンの一般開放デーを月に1日設定しています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
非常時等の対応	④1	○		各マニュアルを分かりやすく施設内に掲示し、周知を図っています。		
	④2	○		毎月、本体と一緒に避難訓練を行っています。		
	④3	○		保護者に確認しています。服薬については利用の際に服薬表の記入をお願いし、服薬の報告を行っています。		
	④4		○		指示書の提出をお願いしていますが、提出していただけません。	アセスメントの際、アレルギーのある利用児については、医師の指示書の提出を保護者に徹底します。
	④5	○		ヒヤリハットをもとに報告書を全員回覧し、情報を共有するとともに、業務改善を図っています。 また、園内で開催されているリスクマネジメント委員会に参加し、事例の分析・共有にも努めています。		
	④6	○		虐待防止のポスターなどを、目につきやすいところに掲示したり、人権・虐待防止に関する園内研修に職員が参加しています。		
	④7	○		利用児や保護者に事前に丁寧に説明し、同意書を頂いて支援計画に記載しています。 現在、拘束事例ありません。		
その他	④8	○		利用児の状況に応じて、運転手の他に職員を配置するなど、安全に配慮しています。		
	④9	○		家族の情報をもとに管理栄養士のアドバイスを受け、体格や年齢に応じた量、障害特性・発達段階に合わせた食事形態で提供しています。		